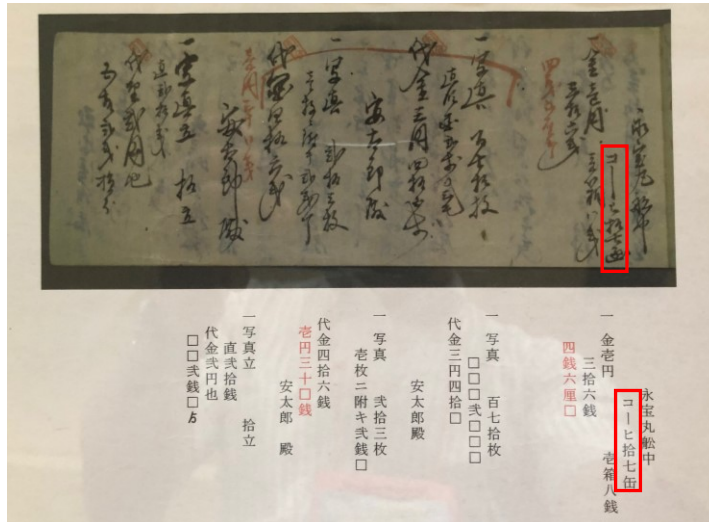


## 右近家文書(福井県南越前町)



右近家資料。「北前船寄港地フォーラム in 坂井市三国湊」での「北前コーヒー」ポップより作成。

73

## 「コーヒ糖」の商品化(2021年)



- ・小樽商科大学本気プロ「日本遺産による小樽活性化」チームが再現した「コーヒー糖」をベースに、新たに「コーヒ糖」として商品化。
- ・2021年2月19日～21日の3日間、札幌市民交流プラザでイベント販売。
- ・高品質の缶ケース。詳細な解説入りラベルを貼付。
- ・若干固め、コーヒー風味を強めるアレンジ。

74

## 九谷焼の影響を受けた小樽の陶磁器

- ・九谷焼を学んだ小樽の陶芸作家・三津和広氏の作品を使用。
- ・陶土は石川県から取り寄せ。独自のアレンジを加えた陶磁器。
- ・北前カフェで作品を展示。



## 周遊マップ・パネル展・ファミリーヒストリー



周遊マップ →あるく



パネル展 →学ぶ



ファミリーヒストリー  
→ルーツを知る



## プロダクトブランド「UNGA↑」(実店舗、2019年)



79

## プロダクトブランド「UNGA↑」(小樽市)

# UNGA↑



UNGA↑



**地域ブランド:「UNGA↑」(うんがぶらす)**

- ・北前船が培った歴史文化 = 付加価値
- ・小樽ならではのストーリー = 差別化

**★リアリティ+オリジナリティ ⇒より価値の高い小樽ブランドへ。**

**★小樽市総合博物館や小樽商科大学等と連携。**

80

## プロダクトブランド「UNGA↑」(小樽市)

**北前航路 小樽海づくし**  
UNGA↑(うんがー)の海鮮珍味4種  
江戸時代中期から明治時代にかけて、日本海を巡り物資と文化を運んだ北前船。北前船が北海道から上方へ運んだのが、昆布、鮭などの海産物。小樽からも沢山の海の幸が運ばれました。

**燻り 帆立貝柱**  
やわらかく風味豊かな北海道産帆立貝柱の燻り油漬を食べやすい真空パックの個別包装にしました。  
[販売価格] 900円+税  
35g入り [常溫]

**燻り ひと口鯿**  
脂の乗った鯿をじっくりと時間をかけて燻製にし、食べやすいひと口サイズの個別包装にしました。  
[販売価格] 800円+税  
50g入り [常溫]

**昆布巻鮭**  
北海道産秋鮭を日高昆布で巻、合成添加物を使わない秘伝のタレで味付けしました。  
[販売価格] 600円+税  
80g入り [常溫]

**昆布巻鯿**  
北海道産鯿を日高昆布で巻、合成添加物を使わない秘伝のタレで味付けしました。  
[販売価格] 600円+税  
80g入り [常溫]

**新商品**  
7月販売

★小樽の水産加工品製造会社と連携

81

## 北前ヤマソーヴィニヨン(北海道ワイン)



お土産品 人気1位  
2018年(平成30年)07月18日(水曜日)  
北海道新聞 第1社会面 掲載

**北前ヤマソーヴィニヨン**  
KIJAMAE-Yama-Sauvignon

北海道産ブドウを、小樽市で醸造したワインです。涼の爽やかなりと、熟成後やがたからも、個性溢れる個性が次は特長となり、飲み応えある酒。

小樽駅構内の地産品店で売上1位

82

## 古民家の活用(広島県呉市御手洗:旧江口邸)



83

## 北前船子ども洋上セミナー(2019年7月)

2019年7月25～27日

**新潟から小樽へ航海(44名参加)**

- ・フェリー講座
- ・北前船ガイドツアー
- ・歓迎セレモニー、交流会
- ・オルゴール制作体験
- ・潮まつり開会式スピーチ



**★加賀と小樽の子どもたちの交流と相互理解へ**

84

## 北前船子ども洋上セミナー(2019年7月)



85

## 越後高島盆踊り



## 越後高島盆踊り

新潟からの移住者によって**高島地区**に伝えられ、現在も行われている民俗芸能。北前船による日本海の交流の記憶。

明治10年代に**新潟県北蒲原郡紫雲寺町**(現・新発田市)から大火を契機に移住した人々が、元禄年間に新潟で成立した踊りや歌を伝える。

戦後、衰退したが昭和54(1979)年に保存会が立ち上げられた。平成13(2001)年に**小樽市の無形民俗文化財**指定

現在では、高島地区だけでなく小樽および全国各地で上演され高く評価されるようになった。

**★「移動」「移住」の文化が普遍性をもった観光コンテンツに**

## 太々神楽(住吉神社)

- **新潟県三条市の八幡神社を起源とする「三条神楽」が、明治21(1888)年、住吉神社の宮司・星野十九七によって小樽に伝えられる。翌22年、「住吉神社太々神楽」に改称。**
- **庶民が舞う神楽であることが特徴。住吉神社太々神楽保存会が継承。夏の例大祭、氏子繁栄祈願祭で奏でられる。**
- **北海道神宮、室蘭八幡宮、滝川神社などに伝承。野幌神社(江別市)には新潟県魚沼、蒲原、古志から伝わる。**





### 3. 北前船遺産を活かした地域振興の可能性

#### (3) 観光庁、文化庁の実証事業

- ①「誘客多角化事業」(観光庁、R2年度)
- ②「域内連携促進事業」(観光庁、R3年度)
- ③「文化資源の高付加価値化促進事業」(文化庁、R3年度)

★Withコロナ期の地域振興支援施策の一環。日本遺産を活かした地域振興の取り組みが全国的に展開。

★積極的な自治体との格差大。戦略、コーディネートが必要。

※小樽市:①、②=採択(日本遺産関連) ③=不採択

※加賀市は、温泉+北前船、で採択。組み合わせ戦略の成功。

### 観光庁「誘客多角化事業」(2020年)

● 日本遺産 小樽市北前船日本遺産を活用したwithコロナ期対応型イベント開催事業

○Withコロナにおいて、小樽市内のイベントは中止が相次いでおり、withコロナ期に対応したイベント開催とモデルケースの展開が求められている。  
 ○6月24日に「飲食店における昼間のカラオケ」においてクラスターが発生し、7月から「どうみん劇」の観光誘客を進める中で回復が遅れる原因になっている。  
 ○少人数で観光を楽しむマイクロツーリズムに移行することを想定しているが、文化観光を推進するにあたり、「北前船」に専門性のあるガイド育成が急務である。

背景(現状と現状)	実施内容
<p><b>コロナ感染拡大による現状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外観光客の減少</li> <li>▶ イベント中止による日本遺産「北前船」認知度向上に向けた機会の減少</li> <li>▶ コロナ禍において、感染防止の観点から市内のイベントが中止が続き、観光誘客が困難</li> </ul> <p><b>日本遺産「北前船」課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本遺産「北前船」の地域資源活用が不十分</li> <li>▶ 地域一体となった観光誘致に必要な市民の日本遺産「北前船」への認知度が低い</li> <li>▶ 地元ガイドが多いものの、日本遺産「北前船」への専門性が低い</li> <li>▶ 既存の観光スタイルの滞在時間が短い</li> </ul> <p>・withコロナのイベント開催の実証                      ・日本遺産「北前船」の付加価値化</p> <p>・withコロナ期のイベント開催モデルケースの確立に伴う誘客の実現                      ・周遊型観光の促進、滞在時間延長                      ・日本遺産「北前船」認知度向上</p>	<p><b>プロモーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北前船日本遺産 PR動画作成</li> <li>動画WEB配信 機軸プロモーション</li> </ul> <p><b>ガイド育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド育成用 動画作成</li> <li>総合博物館のガイド育成拠点化</li> <li>ガイドスキルアップ セミナー開催</li> </ul> <p><b>コンテンツ開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>小樽雪花火</b>                              小樽築港の海上で開催(12/19)                              ● 北前船ストーリー×花火・音楽                              ● 小樽の冬のイベントの柱に</li> <li><b>深掘り小樽塔能ツアー</b>                              日本遺産構成文化財を全て堪能                              ● ガイドバスツアー(11月下旬)                              ● カードラリー(11月)</li> </ul> <p><b>Withコロナ・小樽北前船観光推進フォーラム(1月)</b></p> <p>実証結果を観光関係者と共有</p> <p>Withコロナ期におけるイベント開催のモデルケースへ</p>

## 観光庁「誘客多角化事業」(2020年)

観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業(2千万円)



### 深掘り小樽・北前船堪能バスツアー

- ・11/22(日) 定員20名(申込342名)
- ・構成文化財(7件)を全て見学。
- ・おたる案内人がガイド。
- ・特別展「北海道に渡った九谷焼」見学

### 北前船カードラリー

- ・9枚の構成文化財カード。関連施設、店舗等で配付。コンプリートで認定証、小樽雪花火優待チケット入手。

### 小樽雪花火(12/19)

- ・小樽港で開催。商業施設と連携。
- ・延期しサプライズ打ち上げに変更。

### 北前船観光推進シンポジウム(1/30)

- ・日本遺産審査委員会委員長の基調講演(zoom)、ワークショップ(中止)

91

## 観光庁「誘客多角化事業」小樽市)

- ・日本遺産「北前船」と小樽雪花火のコラボを軸に、日本遺産「北前船」を活かした多角的な観光推進事業を展開。
- ・ツアーガイド、動画、マップ作成等、に際して、**文化財情報を徹底的に確認。**

- ・小樽雪花火 \* 近接商業施設でパネル展、マップ等配付。
- ・バスツアー、カードラリー \* 構成文化財マップ作成
- ・北前船プロモーション動画(2本) \* YouTube公開
- ・ガイド育成事業 \* 博物館に研修用機器設置
- ・シンポジウム \* 基調講演(zoom)

**★観光事業の中に文化財関連要素・事業を組み込む。**

92

## 北前船カード(構成文化財、9枚)



93

## 北前船カードラリー(2020年12月~2021年1月)



**01 日和山**  
(ニノヤマ)

船乗りたちが日和を見た場所

北前山「日和山」は、古くから船乗りたちが船乗船に  
日影(天候や季節)を見定め場所であった。明治初  
(1871)年に地震で崩壊された家形灯が火災で  
消失したのち、同16(1883)年10月に、北海道で2番  
目となる灯台が建設され、航海の重要な目印となっ  
た。

小樽市役所3-240  
お問い合わせ:小樽市産業振興部観光振興室  
TEL:0134-32-4111 (内線453)

発行:小樽市北前船日本遺産を活用した  
withコロナ観光促進イベント振興実行委員会 2020年11月発行

**02 船絵馬群**  
(ふなまてかん)

鮮やかな色彩で描かれた北前船

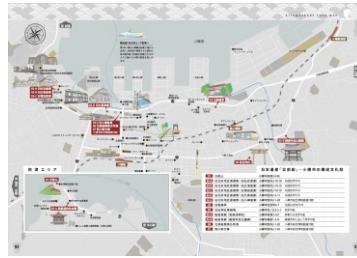
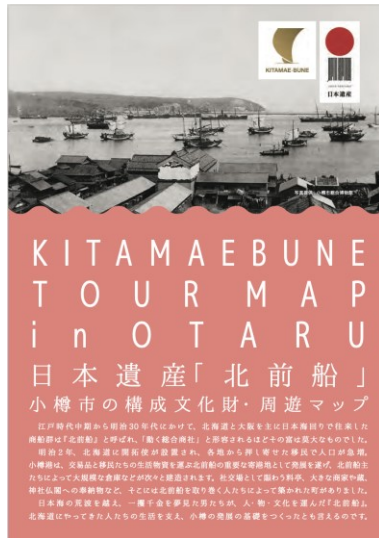
航海の安全を祈願して、北前船主や船乗りたちが  
公費納された絵馬も、船が帰港に描写され、乗組  
員の送迎や身代、乗組員などが送達されている  
こともあり、歴史資料として重要。現在小樽では、  
東夷漁神社本館に2点、船乗者会比羅館に5点の船  
絵馬が日本遺産構成文化財に認定されている。

東夷漁神社本館 小樽市北浜3-161  
船乗者会比羅館 小樽市真駒1-3-8  
お問い合わせ:小樽市産業振興部観光振興室  
TEL:0134-32-4111 (内線451)

発行:小樽市北前船日本遺産を活用した  
withコロナ観光促進イベント振興実行委員会 2020年11月発行

94

## 日本遺産「北前船」構成文化財・周遊マップ



95

## 日本遺産「北前船」プロモーション動画

観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業  
制作：小樽市北前船日本遺産を活用したwithコロナ期対応型イベント開催実行委員会  
YouTube、小樽文化遺産ポータルから視聴可能。公開後役半年で再生数4569回



- ・日本遺産「北前船」構成文化財(7件)を中心に、小樽のルーツと北前船の関わりも紹介(6:58)。
- ・ナレーション：石橋八千代氏(プロアナウンサー、ラジオパーソナリティー等)

- ・小樽市の特徴的な構成文化財である5つの木骨石造倉庫を、北前船主の西谷庄八が紹介(8:46)。
- ・声優：おがわとーる氏(市内在住シンガーソングライター、FMおたるパーソナリティー)。

96

## 小樽市の日本遺産「北前船」プロモーション動画



西谷家資料

### 北前船主の集合写真

西谷家調査(加賀市)で発見。  
宝塚市在住の子孫が所蔵。

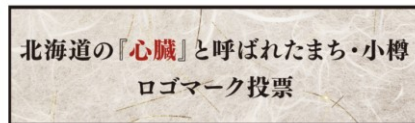
小樽へ進出した北前船主たちの  
集合写真。明治19(1886)  
年12月9日、小樽で撮影。

西谷庄八(5代):前列中央  
浜中八三郎:同右  
赤松清七郎:同左  
増田喜三郎:後列左  
広海二三郎(5代):同中央  
西出孫左衛門(11代):同右

## 小樽文化遺産ポータル



## 小樽文化遺産ポータル



99

## 北前船主の婚礼料理再現(加賀市)

文化庁「Living History(生きた歴史体感プログラム)事業(2019年)  
加賀の北前船主・酒谷家の婚礼料理を資料に基づき再現。



- ・3日間続いた婚礼料理のうち、1日目初膳までを再現。
- ・大聖寺藩士の婚礼様式を継承。
- ・膳・椀は中木家の什器を使用。北海道で運輸業を北前船主らと営む。

ヘリテージ・ラボオンライン「北前船と日本遺産・北海道遺産」での武藤真由氏(加賀市文化振興課)スライドより。

100

## 北前船主の婚礼料理再現(加賀市)



### 【検討会の実施】

地元有識者・観光学専門家を交え、再現料理の特徴、活用について検討。



### 【旅行商品に向けての改良】

料亭にて観光メニューとしての磨き上げを実施当時の料理の特徴を踏まえつつ、観光客向けにわかりやすく、美味しい料理を開発。

ヘリテージ・ラボオンライン「北前船と日本遺産・北海道遺産」での武藤真由氏(加賀市文化振興課)スライドより。

101

## オンラインセミナー(2021年3月)

**北前船**

ヘリテージラボ・オンライン「北前船と日本遺産・北海道遺産」

様々な立場で各地の地域遺産の保全活用に関わる方々の声を聞く事ができる「ヘリテージラボ」今回は「北前船と日本遺産・北海道遺産」をテーマに、2回にわたって各地で北前船遺産の調査研究・活用に関わられている4人の方にお話を伺います(zoomを使ったオンライン開催、参加無料)。

**Part1**

「北海道にのこる北前船遺産(松前・利尻編)」

日時: 2021年3月13日(土) 14:00~15:30

講師: 佐藤誠生さん(松前町教育委員会 学芸員) 山根文久さん(利尻富士町教育委員会文化振興 学芸員)

進行: 高野忠雄さん(札幌医科大学グローバル国際推進センター)

**Part2**

「北前船による北陸と北海道のつながり」

日時: 2021年3月19日(金) 19:00~20:30

講師: 稲吉和彦さん(南越前観光まちづくり課 学芸員) 武藤真由さん(加賀市観光推進部文化振興課 学芸員)

進行: 高野忠雄さん(札幌医科大学グローバル国際推進センター)

【申込方法】  
下記の Google フォームよりお申込みください(先着 50名)。申込締切 3/12  
URL <https://out.jy/3k1c2r5>

主催: NPO 法人北海道遺産協議会 協力: 北越前、一般社団法人北前船交流拡大機構  
(事務局連絡先: TEL 011-218-2858 E-mail [info@hokkaidoisan.org](mailto:info@hokkaidoisan.org))

### ヘリテージラボ・オンライン 「北前船と日本遺産・北海道遺産」

地域遺産の保全活用に携わるの方々のお話を伺うオンラインセミナー。  
(2回開催)。

3/13(土) 14時~15時半

Part.1:「北海道にのこる北前船遺産」  
(松前町・利尻町編)

3/19(金) 19時~20時半

Part.2:「北前船による北陸と北海道のつながり」(南越前町・加賀市編)

主催: 北海道遺産協議会

協力: 北海道、北前船交流拡大機構

102

## 小樽太夫道中(2019年)



・日程:2019年8月3日・4日  
・小樽堺町通り商店街の「ゆかた風鈴祭り」で葵太夫を招聘。太夫奉納舞と太夫道中を開催。

・会場:小樽芸術村、小樽堺町通り商店街、花園ビアガーデン。

・小樽堺町通り商店街振興組合では、「本物」にこだわりたいということで、日本遺産「北前船」関連事業として企画。

### 【様々な課題】

・名称:「花魁道中」は小樽では開催されていない。「太夫道中」に変更。

・場所:堺町通りは歴史的には間屋街。

※小樽の花街文化史とはリンクせず。

## 4. まとめ

### (1)北前船の歴史的意義と魅力。

- ・地元では「あたり前」の再発見。
- ・日本遺産「北前船」の認定。歴史文化を活かした観光まちづくり。地域のブランディング、シビックプライドの醸成のきっかけに。

### (2)地域のルーツ、各地との「つながり」の意義。

- ・「一攫千金」だけではない魅力。ポスト近代社会のヒント。
- ・北前船の近代性。江戸～近代の連続／非連続性の両面。

### (3)文化財の調査研究と観光まちづくり、教育等との連動。

- ・現代的な「北前船学」の必要性。



## 「北前船学」の可能性と課題

### 学際的、広域的、総合的な地域学としての「北前船学」

- 近世史、近現代史、海運史、経営史、アイヌ学、建築史、美術史、観光学、都市計画、文学、地理学などの学際的研究が必要。
- 広域的な地域史（北海道、東北、北陸、瀬戸内海の関係）
- 女性の視点の重要性（生活史、食文化、観光など）
- 各地の北前船遺産のアーカイブと情報発信。
- 調査研究、保存活用、観光・地域振興の連動。

★[全国の北前船遺産ネットワークの連携による地域振興へ](#)

★[北前船日本遺産推進協議会事業でデータベース制作中。](#)

## 船絵馬（住吉神社、明治22年、船主・橋本トラ子が奉納）



ご静聴ありがとうございました！

